

国内グリーンボンドの発行予定について

趣旨

- 機構は、**下水道事業**に対する貸付けを資金使途として、令和元年度より**国外グリーンボンド**を発行。
- 国内ESG債市場は拡大傾向にあり、特に地方債市場においてはグリーンボンドを中心にESG債を発行する団体数・発行額が年々拡大。共同発行市場公募債でも令和5年度に初のグリーンボンドを発行。
- このような状況を踏まえ、機構としても投資家のニーズに適切に対応し、公的主体としてESGに関する取組みを一層推進するとともに、地方共同の資金調達機関として、グリーンボンドの発行等を通じて各地方公共団体のSDGsに関する取組を発信していくことが重要と考え、新たに令和6年度に**国内グリーンボンド**を発行することを予定している(令和6年3月代表者会議にて決定予定)。

令和6年度における国内グリーンボンドの概要

資金使途	水道事業
年限	5年債 を想定
計画額	200億円 (市場環境によりフレックス枠を活用した増額を検討)
レポーティング	<ul style="list-style-type: none">・<u>有効率</u>を中心に、<u>貸付額</u>・<u>給水人口</u>・<u>給水量</u>などに加え、可能な範囲で<u>電気使用削減量</u>・<u>CO2排出削減量</u>の開示を想定・グリーンボンド発行後、貸付団体へのアンケート調査により作成(発行の翌年度における作成を想定)
外部評価	第三者機関より取得予定(令和6年3月を予定)